

第12回核データグループ会合議事録

日時：昭和42年9月29日(金) P.M. 1:00~5:00
場所：原研東海研第2会議室

出席者：中島(竜), 田中, 菊池(康), 中村, 大久保, 中島(豊),
五十嵐, 河原崎, 村田, 更田, 神田, 浅見, 八谷

配布資料：第11回核データグループ会議事録
8/29のシグマ委員会幹事会議事録
Σ委員会炉定数グループ
JNDC ニュースNo5 (リクエスト記入用紙)
RACY の計算式追加

議 事

I 前回議事録確認

II 幹事会報告

8/29 シグマ委員会幹事会議事録の説明 (中島(竜))

42年度子算で購入する機材

リクエスト; 第1回分締切は10月末 (五十嵐)

III 計算関係作業報告

- 1) ELIESE, Non-local optical model のプログラムは Coding 中で, テスト計算を開始
- 2) resonance + optical model の計算はなお検討中
- 3) ELIESE による parameter search は compound elastic を入れ, automatic search が出来るようにする。 (五十嵐)

- 4) Fission 関係 } 現状報告 (八谷)
 5) STEVE 関係 }
- 6) RACY 関係 ; bound state の問題は解決し, Kev region
 での capture r の計算が出来るようなプログラムをつけ加える作業
 を進めている。 (中村)
- 7) COMFORD 関係 演算仕様を作成し, プログラムを依頼した。
 Spacing D, \bar{D}, Γ_n^0 , strength function とその error および
 分布が求められる。 (更田)

IV データシート整理作業の報告と今後の作業のすすめ方の検討

1) データシート整理作業班報告

データシート数 336 枚, charged particle の色別分離格納は
 終了, D, T の \bar{M} が全部通しになっていないので, 次回整理班が行なう。
 (浅見)

2) データシート作成作業の縮小案

検討事項の整理,

収集の範囲, 方法; 雑誌の範囲, 分担; 整理の方法についての案;
 範囲は従来通り, article は, 確実なものに主力をおく。例えば,
 Journal と Laboratory Report で, Progress Report は
 除く。NSA, WASH, BAPS, Euronuclear, Comptes Rendus,
 Nuclear Instr. & methods は除く。分担について; entry
 \bar{M} の多い処の人数を増やす。

今までの統計 (但し数の少ないものは 100% 以上の誤差はあ
 るが, 一応の目安になる。)

雑誌名	冊/年	Entry NO.	
		n	others
Can. J. Phys.	12	17	3
Phys. Letter	24	12	124
Arkiv for Fysik	(?)	(20)	(26)
Physica	12	0	4
Phil. Mag.	12	0	0
J. Inor. Nucl. chem.	12	13	17
Compt. Rend.	(54)	4	4
P. R. Letters	48	20	12
Ann. Phys.	15	10	10
NSE	12	21	0
Helv. Phys. Acta	8	9	6
J. Nucl. Sci. Tech.	12	6	0
Progr. Theor. Phys.	12	3	11
J. Phys. So. Jap.	12 ^{+α}	1	27
Austr. J. Phys.	6	0	1
Soviet J. Nucl. Phys.	12	36	19 (2人)
Nucl. Phys.	~36	32	74 (3人)
P. R.	12	~90	~300
BAPS	12	(50)	(100)

(浅見)

議 論 ; 早くきめた方がよい。縮小案による心理的效果

WASH, NSA.....AEC report の関係

分担のアンバランスがある。

目的・利用の立場から考えよ。

(範囲さく減の具体案を作る。)

全部を cover することは不可能だが、広い範囲を survey した方がよい。速報性をもたせることは無理だから、full paper